

氏名	CHEN Hung-Yu
学位（専攻分野）	博士（工学）
学位記番号	千大院工博甲第工341号
学位記授与の日付	令和4年3月31日
学位記授与の要件	学位規則第4条第1項該当
学位論文題目	都市観光における散策行動を促す地図情報に関する研究-傾斜路情報に着目して-
論文審査委員	（主査）教授：植田 憲 （副査）教授：日比野 治雄 教授：佐藤 公信 （外部審査委員）溝上 陽子 千葉大学融合科学研究科教授

### 論文内容の要旨

訪れた地域の魅力を十分に堪能する都市観光は、幅広い知識や体験が得られることから、来訪者にとって記憶に残る体験の累積が経験となり、生活を豊かにする可能性を持っている。また、近年都市観光は、予め計画された団体旅行でなく、来訪者自らが主体的に観光対象を見つけ、散策しながら地域の魅力に触れようとする傾向が見られるが、その際に地域地図や電子マップは、店舗や名所などの目的地となるスポットに関連した詳細情報が掲載されていることから、目的地の決定や散策経路の決定に大きな役割を担っている。本研究では、目的地となるスポットに関連した情報ではなく、人との出会いや発見・遭遇する体験の機会を増加させる都市空間を「歩いて移動すること」の価値に着目し、都市観光において、魅力を探索しながら歩く散策行動を促し、経路の多様性や範囲の拡大に対して有効な地図情報及び、その提示方法について明らかにすることを目的としている。

まず、異なる表示方法の地図情報が、移動行動に与える影響に関する実験を行い、掲載情報を広い範囲で一覧できる紙地図が、散策行動の拡大に有効であることがわかった。また、地形による傾斜路の有無が、散策の経路選択に関連することが示唆された。次いで地図情報のうち傾斜路情報に着目し、その表示内容及び表示方法について、実験を行った。その結果に基づき作成したピクトグラムを用いて、都市観光時の散策経路選択に対する影響を明らかにした。

傾斜路情報は、歩行者に経路の変更を促し、経路選択における歩行者の意識変化を促し、散策行動を促進するためのきっかけとして使用できる。それらを地図に適用することで、散策の経路計画における行動の多様性が高まると考えられる。